

# 会 議 録

## 1 会議名

平成25年度 第1回岱明地域協議会

## 2 開催日時

平成25年7月30日(火) 午後1時30分から3時まで

## 3 開催場所

岱明支所 2階 第2会議室

## 4 出席者

- (1) 委 員：森尾由成、前田敦子、木村勝、堀孝一、永井光子、田中安子、倉野尾誠至、新野尾富美、樫原宏海、小山玲子
- (2) 事務局：山口岱明自治区事務所長(岱明市民生活課長)、宇野岱明市民生活課市民係長、松倉岱明市民生活課主任
- (3) 主管課：原口企画経営部長、島崎企画経営課長、石貫企画経営課地域振興係長、宮本企画経営課参事、上田企画経営課主任
- (4) まちづくり委員会：(高道校区)平野利和事務局長、(睦合校区)中山勝子副会長、中原早人副会長、(大野校区)吉田勇人委員

### 欠席者

委 員：前田弘幸、村田明彦、坂上眞千子、松本正廣、川元孝廣

## 5 会議内容

### (1) 玉名21の星事業助成金交付申請について(諮問)

- ①高道校区まちづくり委員会
- ②睦合校区まちづくり委員会
- ③大野校区まちづくり委員会

### (2) 玉名市公共施設適正配置計画について(報告)

### (3) その他

## 6 議事の概略・協議結果

### (1) 玉名21の星事業助成金交付申請について

3校区のまちづくり委員会から申請内容について説明後、質疑応答が行われ適当と認められる。

### (2) 玉名市公共施設適正配置計画について

経営企画課経営戦略係の担当者から「玉名市公共施設適正配置計画」を策定したことに伴う当該計画の概要説明後、質疑応答が行われた。

### (3) その他

## 7 会議資料

- (1) 会議次第
- (2) 玉名 2 1 の星事業助成金交付申請について（諮問）資料
- (3) 玉名市公共施設適正配置計画に関する説明資料

## 8 傍聴人の数

0人

## 9 非公開の理由

—

## 10 会議録の種類

要点記録

## 11 発言の内容

### （事務局）

只今から、平成25年度第1回岱明地域協議会を開催いたします。

本日は、15名中10名の委員の皆様にご出席をいただいております、委員の2分の1以上の出席がありますので、「玉名市地域自治区の設置等に関する条例」第12条第2項の規定により、本会議が成立することをご報告いたします。

最初に、4月の機構改革に伴い、事務局が総務振興課から岱明市民生活課に変わり、また、人事異動もあっておりますので、自己紹介をさせていただきます。

### 【事務局の自己紹介】

それでは、森尾会長よりご挨拶をお願いします。

### （会長）

皆さんこんにちは。新しい年度になりまして第1回目の地域協議会ですが、本日は諮問の議題が1件と報告が1件ありますので、ご審議をよろしくをお願いします。

### （事務局）

ありがとうございました。続きまして、本日の議事録署名人の指名を、森尾会長にお願いいたします。

### （会長）

本日の議事録署名人を、新野尾委員と小山委員にお願いします。

### （事務局）

議題に入る前に資料の確認をお願いします。

## 【会議資料の確認】

なお、玉名 2 1 の星事業助成金交付申請についてですが、鍋校区の助成金の申請は、本年度はありません。まちづくり活動は実施されますが、助成金の申請はしないということでしたので報告します。

それでは、早速ですが議事に入りたいと思います。議事進行につきましては、会長が議長を務めることになっておりますので、森尾会長にお願いしたいと思います。それでは会長よろしく申し上げます。

(会長)

それでは、それぞれ皆さんお忙しい貴重な時間ですので、早速議事に入りたいと思います。確認ですけれども、昨年同様、議事録につきましては、録音をさせていただきます。それと、質問等される方は、名前をおっしゃって発言をお願いします。それでは早速始めたいと思います。

(高道校区まちづくり委員会)

## 【資料に沿って申請内容について説明】

(会長)

高道校区の委員さんから報告がありましたけれども、各委員さんで質疑がありましたらどうぞお願いします。

(会長)

まちづくり活動計画書の中の 5 ページ、まちづくり活性化事業の消耗品の T シャツ制作費の件ですが、これはスタッフが代わったときにはそれを引き継ぐのですか。

(高道校区まちづくり委員会)

人の物は着たくないと思うので、そういったときは新しく作ります。

(委員)

一生懸命やっておられるのがよくわかります。予算上、いつも最近よく思うのですが、予算書に書いてある市からの助成金 30 万円は安いと思います。睦合とか他のところはギリギリのところをやっているといいます。3 年前から極端に減りまして、活動はもっと多い方ができるんじゃないかと思いますが十分ですか。

(高道校区まちづくり委員会)

厳しいですね。高道校区の場合は、以前に焼酎づくりなどをやった財源がありますので、何とかしのいでいる状況です。

(委員)

30万円の助成は、玉名市でいくつの校区が申請されていますか。

(企画経営課)

昨年度で申しますと、21校区の内17校区に交付をしております。

(委員)

4校区はされていないということですね。

(企画経営課)

活動はされてます。独自で財源を生み出して活動をされ、助成金の申請はなくとも自分たちで活動をしておられます。

(委員)

この助成金の問題は、他の校区では出てきませんか。

(企画経営課)

この助成金が平成25年度までと決まっていることを皆さん分かってらっしゃいますので、これから同じ様な継続に向けてお金が無くても、助成金が無くても自分達で努力をしていこうという地域、ちょっと難しいかなという地域といろいろありますけど、本来この助成金自体が25年度までということで決定をして活動をしていただいているものですので、そこは分かっていると思います。

(委員)

私は、区長会の会長、区長を経験してきました、実際お金を集めたり出したりする経験をしてきました。市のまちづくりということで頑張らないといけないと思いますが、市民も30万円では少ないのではないかと思います。助成金の金額をアップして、もちろん行政区からも出せば、いろいろと出来ると思う。やる気があるのであれば、もうちょっと予算を考えて欲しいというのが委員としての気持ちで、今のままでは無理ですよ。金は余裕ないでしょうけれども、使うところには使って欲しいと思います。

(会長)

今の意見は検討していただいて、市全体のニーズの中でいろんな予算の使い方もあるでしょうが、その中で出来ることならば、熱意のあるところに少しでも熱意に報いるような予算が出ればという想いがありますので、どうかよろしくお願いします。

(委員)

今は、予算は25年度までということですよ。今は17校区に助成金を出しておられるんですよ。

(企画経営課)

平成24年度は、17校区から申請がありましたので。

(委員)

それをそのまま出せるのだったら、25年度も17校区に出すわけですよ。26年度からは、全然ストップということですか。

**(企画経営課)**

まだ市の方針というのは決まっていませんけども、21の星事業は要綱どおり25年度で終了するというので今取り扱っております。今後のことですが、まちづくり委員会も今まで熱心に活動していただいておりますが、まちづくり委員会以外にも地域づくり団体がいろいろございます。このまちづくりの発展のために、継続して市として何らかの支援ができればと思っておりますし、その方向でどういうことが出来るかを組み立てておりますので、方向的にはその方向でよろしいと思います。どういうふうな制度にするかの過程の中で、今のまちづくり委員会の方にも今までの活動の総括を聴いたり、いろんなご意見を伺う機会を作らせていただきたいと思います。

**(委員)**

でも、助成金がストップした場合ですね、これだけ盛り上がっていて、じゃあ助成金が出ませんよということになれば、私の場合高道なんですけど、おじいちゃんからおばあちゃんまで人が集まって、だんだん大きくなっていったわけなんです。そういう中で、助成金が出ませんよということになれば、どのようにして運営していけばいいかわかりません。これは高道校区のことを言ってるんですが、他の事業はわかりませんので。どういうふうなやり方でやっていいかわからなくなりますよね。担当課の方に言いますが、高道校区の場合は、前々日から皆頑張っていて、舞台から造るんですよ。それだけみんなの努力でやっているのに、はい助成金が終わりましたよでは、納得いかない。こういう意見も会議の中で上げていいですよ。

**(会長)**

今の意見と、私が先程担当課から聞いた理解の度合いがちょっと違うかもしれないですが、21の星事業というのは25年度で終了という前提で進めてきた事業で、26年度以降については、今継続している各まちづくり委員さん達との相談の上で、26年度以降のこれからのまちづくり支援を考えましょうというふうに私は聞き取ったんですけど。そういうふうな聞き取りでよかったですか。

**(企画経営課)**

もしかすると、初めてこの事業の事を聞く方もいらっしゃると思いますのでこれまでの経緯を説明させていただきますが、玉名21の星事業は、旧3町につきましては、最初の3年間で500万円という金額を市の方か

ら助成しております。その中で、計画書を作って、自分の校区をどういうふうに進めていくかという形での事業が開始されて、その後5年間、25年度まで助成してまいりました。当然、他の地域からも同じような意見が出ました。5年で止めるのであれば、次はもうやれんと。ただ、これは強く言わせていただいたんですが、一つの補助金というものは、それを永遠に同じようなことでずっと続けていくべきものではないという考え方は持っております。そういう意味で、最初の3年間と後の5年間、8年間でそれぞれの地域でそれぞれの地域のあり方を方向性を見つけていただいて、この助成金が無くなるから自分たちの手作りで、一つの例として挙げると、高道校区がいいと思いますが、焼酎を作って、それを地域の方に販売して、そのお金を少し稼ぐ。あるいは、各地域から少しずつでも寄付をもらうというような形で、この助成をきっかけとして、その分は自分たちの手で、少し小さくなくても構わないけれども、校区みんなで仲良く何らかの形で進めていって欲しいというもとの条件がございました。先程会長からありましたが、結論といたしましては、玉名21の星事業は、今までと同じようなやり方は少なくとも今回で終わって、続ける予定ではございません。ただ、何らかの、玉名市全体のまちづくりという意味での何らかの補助金を、今年度中に制度の設計を行いたいと考えています。

(委員)

やる気があるところには、考慮して補助を出して欲しい。そうしないとまちづくりに5年間相当金を使ってやってきて、やっと根付いてきたというところもあるし、これからやろうというところもあるし、予算が無くなってもやる場所はありますよ。それはそうとしても、補助があっているんだということが、自分達のまちづくりを認めてくれてるんだという気持ちにもなりますし、そのことを言いたかったものですから、私も予算を考えて下さいということです。

(委員)

止めますよと担当課はおっしゃいましたけど、止めるのは企画経営課で決めるのですか。今からそれだけでなく、違う事業がありますよというふうになりますよね。その校区から申請があったとしますね。それはどこで審査するのですか。

(企画経営課)

普通に考えれば、我々企画経営課の中で地域づくり補助金は取り扱うことになると思います。

(委員)

鍋校区は、助成金が要らないということで今回は諮問をされていません

が、事業をすれば助成金がくるということならば、30万円は浮いてるわけでしょ。どうなんですか。実施をしないとお金はこないということですが、じゃあ報告無しでもいいですよで済んでるわけですか。鍋校区はお金ももらわなくても、何か報告やこれからの計画と今年度の報告が必要ではないでしょうか。今までずっと4つの校区でやってきているものですから。助成金は要りませんから、文書も何も出しませんよじゃおかしいなと思います。文書をももらった時に、鍋はプリントが間に合わなかったのかなと単純な疑問を持っていたわけです。そこの説明をお願いします。

**(企画経営課)**

この会議にかけてくださいということでお出しするのは、助成金申請があったところについてのみということになっております。鍋校区については、昨年度までは申請がありましたけども、今年度も待っておりましたが、出る気配がありませんでしたので問い合わせしたところ、お祭りをしたいということで、お祭りの材料等の経費に充てたいというところがありまして、本来の助成金対象項目とはならない部分が多くあると思われ、自分達で事業はするけれども、今年度は助成金の申請はしませんということでした。昨年度も、お祭りで販売するための品物を購入する予定ということで補助を組み立てておられました。それでしたら助成金の対象にならないので、内容を変更しての申請でした。今年度についてはどうされますかとお尋ねしたところ、お祭りをしたいけれども、申請はしないと伺っております。

**(委員)**

参考資料に、鍋の昨年の報告書が無いじゃないですか。昨年ももらっていないんですか。

**(企画経営課)**

この資料は、今年度に申請書があった校区のみ、昨年度の実績報告書をつけております。

**(会長)**

他に何かありますか。

**(委員)**

今の話はおかしいでしょ。鍋は、昨年実動されているわけですよ。どんなことをされたかという報告がないとおかしいと思います。請求しなければならぬ。今年助成金の申請をするしないの別として。プリントが遅れているのかなという単純な疑問を持つわけですよ。そこは担当課も徹底してもらえないでしょうか。

**(企画経営課)**

繰り返しになりますけども、昨年24年度は30万円の助成金が申請され、交付も30万円して、報告審査を受けております。今回諮問しているのは、今年申請があった3校区分ですので、昨年の実績というのは今年の申請の参考資料として付けておりますので、鍋校区からは申請が上がってきていませので、実績のほうも付けるのは抜かせていただいております。それで今回お配りしている資料には、鍋校区の分は付けておりませんが、実際には実績報告が上がっております。

(会長)

この地域協議会にもその報告書を上げて欲しいということですか。

(委員)

あった方が妥当だと思うんですよ。お金がどうこうでなくて、昨年鍋校区はこんなことをなさったんだなという。そういうものがあればすぐ了解できるんですよ。だから、あれっと思ったんですよ。

(企画経営課)

今、皆さんがおっしゃっておられる実績報告についてですが、例えば、来年の地域協議会の中で、25年度で21の星事業はどんな事業をしたかという資料をこの会議に提出するのは可能かと思うし、皆さんも知りたいところだと思います。ただ、今回の諮問については、30万円の助成金を出すのに適した事業かどうかというのを会議で協議していただくために出しているわけです。ただ、おっしゃるとおり、岱明自治区の中でどういったまちづくりが行われているかお知りになりたいのであれば、助成金を出していなくても、参考資料として出すのは構わない話です。

(会長)

よろしいですか。

(委員)

はい。

(会長)

それでは、他に意見が無いようでしたら、高道校区に関しましては、申請書の諮問のとおり決定でいいですか。(委員からはいの声)

高道校区に関しましては、申請書どおり1年間頑張っやっていただきたいと思ひます。

(高道校区まちづくり委員会)

ご声援よろしくお祈ひします。

(会長)

続きまして、睦合校区まちづくり委員会からの諮問の書類が出ておりますので、説明をお願いします。



**(睦合校区まちづくり委員会)**

**【資料に沿って申請内容について説明】**

**(会長)**

それぞれ皆さんのお手元に資料があると思いますけれども、睦合校区から出ている昨年度の収支報告書、実績報告書とかいろいろありますから、何か皆さん方から質疑がありましたらどうぞお願いします。

**(委員)**

質疑ありません。

**(会長)**

他の皆さんはいかがですか。

**(委員)**

予算が少ないと言いましたが、ホタルの里及び日嶽の整備活動はとてもお金がかかるんですよ。だから、皆さんほとんどボランティアで頑張っていますよ。

**(会長)**

それでは、他の委員さん方いかがですか。諮問どおりに採択してよろしいですか。(委員からはいの声)

睦合校区の皆さん1年間頑張ってください。

**(睦合校区まちづくり委員会)**

ありがとうございます。

**(会長)**

次は、大野校区お願いします。

**(大野校区まちづくり委員会)**

**【資料に沿って申請内容について説明】**

**(会長)**

今、説明がありましたけれども、皆様意見がありましたらお願いします。

**(委員)**

大野校区のブルーセーフティ事業というのは、岱明町の中に入ってきて、ここは大野校区だなどわかるように街灯が大野校区だけ目立つくらい明るくなっている。岱明町全部明るくなったらいいなと思っている。皆さん頑張っているんだなというのが目に見えて、パトロールもよくされていて、頑張っていらっしゃるんだなというのを拝見いたします。

(大野校区まちづくり委員会)

ありがとうございます。

(会長)

他に何かありませんか。諮問どおり可決してよろしいですか。(委員からはいの声)

それでは1年間頑張ってください。

(大野校区まちづくり委員会)

ありがとうございます。頑張ります。

(会長)

それでは、1号議案につきましては終了し、第2号議案に移りたいと思います。第2号議案につきましては、地域協議会の諮問ではなくて報告ということで出ておりますので、担当課から説明等お願いします。

(企画経営課)

【資料に沿って玉名市公共施設適正配置計画の内容について説明】

(会長)

報告ということでしたけど、なかなか難しい問題で、誰も答えの見えない問題なのでいろんな意見があると思いますし、住んでいる人たちにもいろんな意見がありますし、なかなかみんなが満足いくような行政の運営は非常に厳しい状況だと思えますけども、一応大きな方針として、市の方からこういう形で進めていこうという報告がありました。委員さん方もいろんな意見をお持ちだと思いますので、これは諮問ではありませんが、出来ればこんな意見もこの先取り入れてくれないかというような意見がありましたら、この場で委員さん方のご意見を出していただきたいと思えます。

(委員)

公民館の問題は、岱明では昔から話には出ているんですが、この支所の中にとっても前に話を聞きまして、いい話ではないかなということは思っておりました。支所が公民館や図書館になっていく時、検討会や市民の声を十分活かして改造とかはされるんですね。ただの公民館というよりも、ホールが欲しいなどかいろんな市民の声があると思います。そういうのも今後も活かして進めていただければなと思っております。よろしくお願いします。

(委員)

私は、この計画書を2、3回全部読みましたが、よくできていると思います。よく頑張っていたらいいので、その方向で加速的に早くしてい

く方がいいんじゃないかと思います。市民の意見を一つ一つ聴いていると先に繋がらないので、こういうことならどんどんやっていくというくらいの姿勢の方がいいかなという気はします。企画の方で一生懸命やっておられるので、是非お願いします。質問ですけども、人口の何人減るといのはどういう計算でされたのか。

**(企画経営課)**

計算のやり方は何種類かあるんですけども、ここで示したのは、人口問題研究所という国の施設が、過去の人口の増え方や減り方を考慮して計算して、その数値と予想を加味しまして、コンサルタント会社をお願いして計算しています。

**(委員)**

市が計算したわけではないのですね。

**(企画経営課)**

100%補助金がかかる合併推進補助金というものがあるのですが、それを活用しまして、きちんとした基礎知識を持ったところのコンサルタントの知識を利用してやらせていただいています。私達が思い込みでやっても、減り方がおかしいんじゃないかとかありますので。

**(委員)**

玉名市全体をみた場合は分かりにくいのですが、岱明町をみた場合、鍋校区とか相当減りますね。大野校区は、睦合校区よりも延びるんですよ。睦合校区は、こんなに悪いんですかね。最近はずっと人口が増えていると思っていたので、何を根拠にしてあるのか疑問に思ったところです。コンサルタントの専門家がやっているということですね。

**(委員)**

私は今の意見と反対なのですが、公民館を支所に移行することは前々回の会議の時に出了たのですが、今後の計画や方針に対して、なぜ公民館を支所という意見になったかという、公民館を早く造ってくださいという意見で言っているのです。岱明の場合、支所からB&Gのグラウンド、ふれあい健康センター、大野小、岱明中等この付近の5km以内に公共施設がまとまっている。その時私が言った意見としては、公民館と支所が近いから何か使えないかなということで意見を出していた。そのような話の中で、支所に公民館を持ってきますよだけでは、どのような造りになるのか、公民館はいろんな方が使われますので、そういう方の意見を聴いてもらったり、その区の代表者の方と色々な人に意見を聴いて、岱明の公民館なので岱明住民が一番使いやすいように改築して欲しいし。それと、岱明の公民館の西側に共済会館があったんですけど、その土地と公民館の前の

土地も岱明町の時に買っており、岱明町の住民のお金を使っているのです。建設できませんよとか既存の建物を使いますよという時には、どのように利用するか計画して、ちゃんと協議会なり意見交換会などの場を設けてもらいたい。

(委員)

私の意見に反対とは、何が反対なのか。

(委員)

行政で先に進めていくということです。

(委員)

行政にするなということか。具体的に何が反対なのか。

(企画経営課)

A委員は、適正配置計画の長期的なことに関して進めて欲しいという意見で、B委員は公民館のことに関しておっしゃられているので、これに関しては私達も粛々と進めていきたいと思います。

(委員)

公民館はその話、去年出てますね。民意としては、反対というか。

(企画経営課)

合併してすぐ公民館の建設の話があったのですが、皆さんご存知だと思いますが、岱明中の体育館の建て替えと順番を入れ替えて行うということでやってきたのですが、その中で、この地域協議会の中でもB委員がおられた時に、公民館の建て替えについては早期にしてくれと要望が地域協議会から出したりした経緯もありました。昨年についても、市からあまり言い返事がなかったものですから、毎年公民館建設の建議を出そうという意見があって、昨年はその話をしました。その時私もこういった計画書が今後できるなら、その時に検討したらどうでしょうかということで話をしたところです。担当の説明が途中で終わりましたが、早急に玉名市で解決しないといけない問題としてやろうとしています。モデルとして天水も横島もあり、その中で岱明の公民館があるんですが、これについては早急に結論を出してやりたいと考えています。ただ、これは全体的な考えであって、公民館建設については教育委員会の所管になり、また、この支所をどういった利活用をするか担当課の考え方もあり、先程の意見のように、今後はいろんな人の意見を聴いて改修しなければならない。支所を改修するのであれば、どういう施設を重視すればいいのか、文化施設、図書館、公民館が無くなれば、あそこは避難施設となっていますので、避難所として対応できるような施設を整備するとか、改修するのであればそういったことを考えています。当然、それは行政ばかりではなく、図書運営

委員会や支館長さんなどに話を聴きながら、また、防災担当の意見も聴きながら、改修するならこのような方針にするということです。

**(委員)**

私の一番の気持ちは、この協議会の中で私は公民館のことをずっと言い続けている。何故かというと、岱明の中でも築年数が一番古いし、瓦も飛びそうで雨漏りもするし、もし災害があったり、住民がどうにかなった場合を考える。そのような中で、ずっとずっと伸び伸びになっているから、毎回会議の時はこれを出しているわけです。改修するのであれば、いろいろな団体の方もいらっしゃるので、担当課も住民の意見を聴いてくださいということをお願いしたい。

**(委員)**

行政区に一つずつよい公民館が出来てますよね。介護関係の金がどんどん使われて、公民館が分断しているというか、地域に根づいた形になっている。勉強不足で分からないけれど、大きな公民館は何のためにあるのかな。私共も新しい公民館を市の補助金で造りました。皆さん喜んでおられました。そういったことも総合的に考えた上で、費用対効果も含めて、是非考えてもらいたい。

**(会長)**

私の意見なのですが、いろんなやり方、方法があると思いますし、実際、予算など懸案事項も山ほど抱えているようですが、市が市有地として抱えている面積を減らそうということでやっていますけど、具体的に減らすとなれば、その敷地を処分して全く手放すのか、例えば、市有地に住宅を建てて新しい人口を呼び込むのかとか、いろんな分野から検討されていると思いますけど、先程も意見が出ましたが、できれば決定となる前に、各関係団体に説明を含めた上で進めていただきたい。

**(企画経営課)**

各委員さんから疑問のことということで、ご意見いただきましたが、これは、天水、横島でも同じようなことを言わせていただきました。資料3の一番下をご覧ください。削減目標と書いてあります。ここだけ説明をさせていただきます。今現在の市の保有する施設にかかる今後40年間の平均トータルコストを65%削減すると書いてありますが、これは、今持っている市の建物を今までどおり修理したり建て直したりしていくと、かなりのお金がかかることは説明したとおりです。それではパンクしますので、市がパンクしないためには、建て替えを止めたり廃止したりして、65%削減するという目標を、お金の面では立てております。もう一つは、市が持っている建物の面積は、一つにまとめるということにして、37%減ら

すという、お金の面と面積の面で二つの大きな目標を立てております。先程お話がありました、残った土地はどうするのかということは一切決まっておりませんが、市の全体の財政状況を考えれば、地域に必要で地域が管理できるコミュニティの場所については、地域で管理していただくのであれば残すことも考えられるでしょうし、あるいは、住宅地によいのであれば、極端に言えば、民間に売り出すこともあるでしょうし、いろいろな方法を考えなければいけません。保有面積を37%減らすためには、ある程度売らないと減りません。無償で貸し付けたとしても、管理費を市が持てば、その分金はどんどん減っていきます。65%削減は無理になる。そういう観点で考えれば、人口増加のための住宅地として、市が計画する場合も、もしかするとあるかもしれませんし、民間に運用することもあるかもしれません。これは他の事例ですが、空き家になった小さな小学校に、老人保健施設がそのまま借りたいというような形もある。そういう事例もありますので、今言いましたように、いくつものパターンを考えながら、将来的に玉名市が潰れないように、目標に向かって、もちろん地域のご意見を伺いながら、早目早目に粛々とやっていくということが全体計画になります。そういうことで、言いにくいことばかりですが、お分かりいただいて、ご意見をいただきながら、ご協力いただきたいと思います。よろしく申し上げます。

(会長)

他に、委員さんから意見がありましたら。

(委員)

質問ですが、資料4に大野保育所と地域子育て支援センターくすの木がバツになって大野小学校の中に入ってますけれども、大野小学校に移るといことですか。

(企画経営課)

学校規模適正、再編の問題で余裕教室が生まれた場合は、こういった活用も一つの案として考えられるのではないかと資料です。

(委員)

市の財産には、固定資産税はかかるんですか。

(企画経営課)

先程財産処分の話をしたんですが、岱明町の例でいうと、浜田の第一保育所跡地も利用していないので、将来的には売る方向で考えています。それと旧母子センター跡地もふれあい健康センターができた時点で利用していませんので。地区や行政で利用するのであれば、そのまま財産として使っていくのですが。旧給食センター跡地や教職員住宅跡地については、既

に売っています。土地をどこかに売れば、固定資産税が入ってきますので収入になります。

(委員)

行政も商売的に考えていかなければならなくなってきたということですね。

(企画経営課)

維持管理費がそれだけかかりますので。

(委員)

施設の中では公営住宅が2番目に多いのですが、公営住宅に関してはどういうお考えですか。私の考えは、民間に売れば固定資産税が入ってくるだろうけど、ただ、公営住宅は低所得者のためと考えればどうなのか。何度も考えても答えが出てこない。

(企画経営課)

公営住宅をどうするのかというのは、まだ方向性は出ていません。といいますのは、今言われたとおり、保有する施設の面積が学校関係と市営住宅が占めておりまして、市営住宅が保有面積の第2位です。まだ研究段階にあるというのは遅いと言われればそれまでですけど、民間が建てて民間に運営してもらう方法もあります。今あるアパートを市が借りきって、市は投資せずに入ってもらいなど様々な方法が全国的に展開されております。そういう意味合いでは、そういう方向性も頭に入れながら、まだ考えているのは遅いと言われるかもしれませんが、玉名市はこういう方向で行くというのが、残念ながら今の時点ではありません。そういう答えしかできませんが、ご容赦ください。

(会長)

いろいろ意見が出ましたけれども、他に何かありませんか。無いようでしたらこの報告に関しましては終わります。

それでは、その他ですが事務局の方からか委員さんの方からありますか。

(委員)

この前の会議で話があったと思うのですが、私の住んでいる所は海拔何メートルとか、そういうふうなやつはもう設置してあるんですか。

(事務局)

ポイント、ポイントで公共施設には既に設置してあると思います。その確認はしておりませんが、支所につきましては、正面玄関入って右側にしてあります。

(会長)

他に何かありませんか。

**(委員)**

話が戻るのですけれども、まちづくり委員会の助成金申請のところで、鍋校区の実績が出ていないからという話があったのですが、資料を見た時、どうして鍋校区は出ていないのかと不思議に思った。助成金の申請が無かったので今回は鍋校区は出ていませんとかがあれば親切だったのではと思ったので、入れて下さればよかったかなと思います。

**(委員)**

私も親切さをお願いしたい。申請が無いならプリントはしないじゃ。とても鍋は頑張っているのに、実施はしているのに報告文書がないということで不思議に思った。実績の文面が一枚でもあれば、会議に出席する段階で把握しているのに。

**(企画経営課)**

玉名自治区で申しますと、13校区小学校がありまして、平成13年度から玉名自治区はまちづくりを始めております。それから長いこと経って、自分達で何とかやっけていこうという校区もいくつかあります。ですので、13校区全部から申請があるのではなくて、半分ぐらいの校区からの申請で上げたりいろいろありました。審議をするのは、申請があったところのみということで、そういうやり方を私がしていましたので、岱明町については、申請が無いところは省いて当然という考えの下でやっておりましたので、皆さん方に対しましては失礼をいたしました。

**(会長)**

私自身も、できるだけ送られてきた資料をしっかりと読んで、忙しい委員の皆さんだから、時間をいろんなところに使わずにと、事務局にも言ってみましたし、諮問だからそれはそれで諮問しよう判断しました。確かに、言われてみれば、諮問にはないけれども、実績みたいなものがあれば良かったのかなと思います。今後の参考事例として、お互いに努めようと思います。

**(委員)**

資料が送られて読むのが楽しみ。2回、3回と読むと理解できる。

**(会長)**

当然、委員の皆さんは事前に資料を読んでもらうはずだから、説明はポイントだけでよいと思ったら、逆に違うところからの質問を受けたりして、担当としても、どこをどう説明してよいか迷う部分もありますけれども、お互い委員会の中で意見を出し合いながら進めていったらと思います。他に何も無いようでしたら、これで終わりたいと思います。ご苦労様でした。



(事務局)

それでは、以上をもちまして平成25年度第1回岱明地域協議会を閉会  
します。お世話になりました。

## 12 問い合わせ先

玉名市岱明市民生活課 TEL0968-57-1111